

平成19年度県政世論調査 結果概要

県政に対する県民の意向、要望を把握し、今後の県政運営の資料とするため、県政世論調査を行いました。

【調査項目】 長野県の将来 信州まつもと空港 人権意識 男女共同参画 県の広報
食育 メタボリックシンドローム 水環境保全 芸術文化 長野県の経済
観光 農畜産物マーケティング 森林づくり 道路整備 高齢期の住まい
運動・スポーツ 学校教育 交番・駐在所の活動 交通事故防止 治安情勢

【調査方法】 調査地域：長野県 調査対象：満20歳以上の男女2,000人
抽出・調査方法：層化3段無作為抽出法・郵送
調査期間：平成19年5月14日(月)～5月29日(火)

【回収状況】 有効回収数 1,439人 (回収率 72.0%)

回答者の内訳

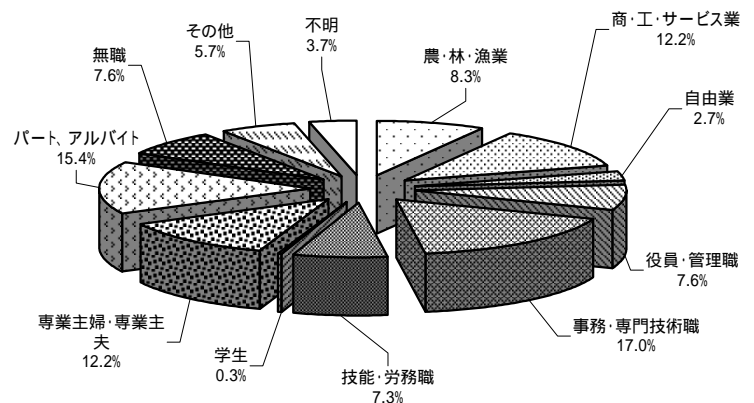
【性別と年代】

(上段回答者数:下段割合)

	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	不明
総数	1,439	80	197	313	458	166	100	53	29	43
	100.0%	5.6%	13.7%	21.8%	31.8%	11.5%	6.9%	3.7%	2.0%	3.0%
男性	654	24	69	125	225	100	61	29	21	-
	45.4%	1.7%	4.8%	8.7%	15.6%	6.9%	4.2%	2.0%	1.5%	-
女性	741	56	128	188	232	66	39	24	8	-
	51.5%	3.9%	8.9%	13.1%	16.1%	4.6%	2.7%	1.7%	0.6%	-
不明	44	-	-	-	1	-	-	-	-	43
	3.1%	-	-	-	0.1%	-	-	-	-	3.0%

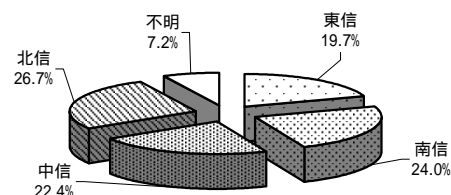
【職業】

	回答者数	割合
農・林・漁業	120	8.3%
商・工・サービス業	175	12.2%
自由業	39	2.7%
役員・管理職	110	7.6%
事務職・専門技術職	244	17.0%
技能・労務職	105	7.3%
学生	5	0.3%
専業主婦・専業主夫	176	12.2%
パート、アルバイト	221	15.4%
無職	109	7.6%
その他	82	5.7%
不明	53	3.7%
合計	1,439	100.0%



【地域】

	回答者数	割合
東信	283	19.7%
南信	346	24.0%
中信	322	22.4%
北信	384	26.7%
不明	104	7.2%
合計	1,439	100.0%



《森林づくり》

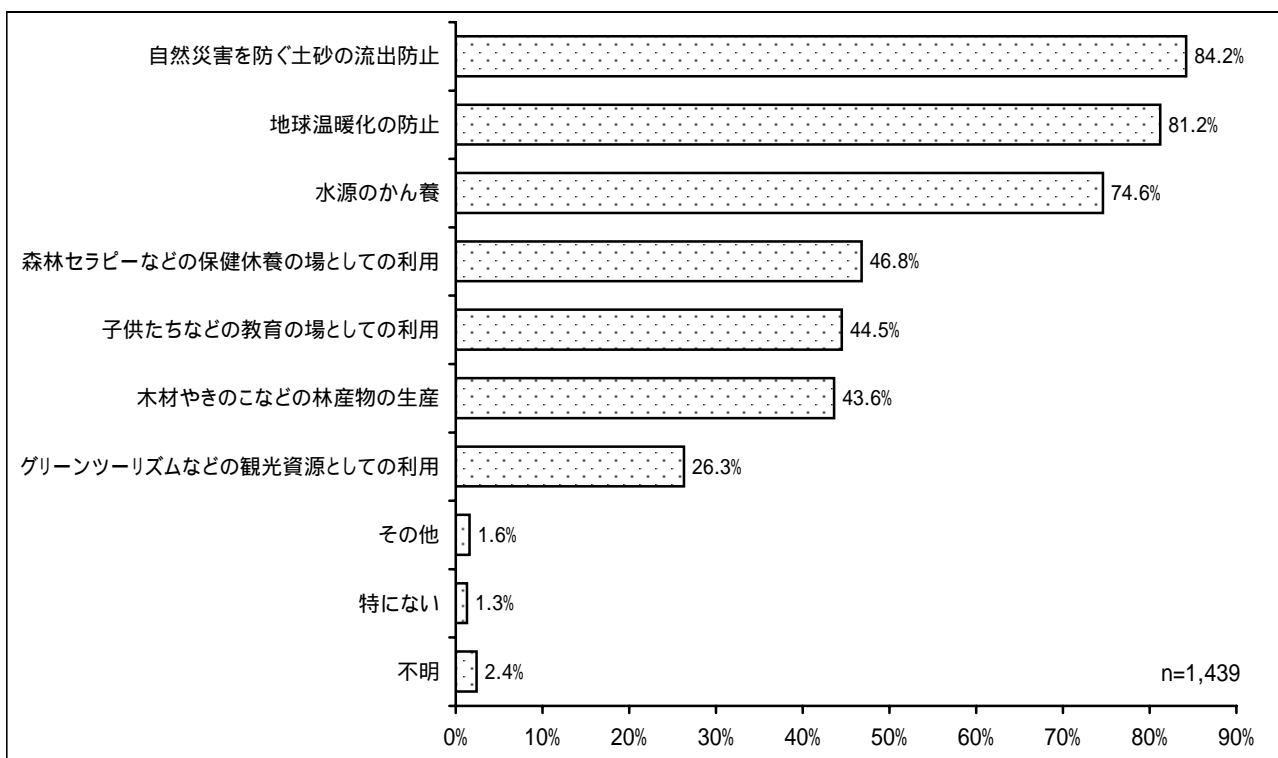
< 森林に期待する役割 >

「自然災害を防ぐ土砂の流出防止」、「地球温暖化の防止」に8割以上が期待

問29 あなたが森林の果たす役割の中で期待しているものは何ですか。次の中からあげてください。(いくつでも)

	n= 1,439	回答数 (人)	割合 (%)
自然災害を防ぐ土砂の流出防止		1,211	84.2
地球温暖化の防止(二酸化炭素を吸収する役割)		1,168	81.2
水源のかん養(水を貯え、洪水や渇水を緩和する役割)		1,073	74.6
森林セラピー(森林療法)などの保健休養の場としての利用		674	46.8
子供たちなどの教育の場としての利用		640	44.5
木材やきのこなどの林産物の生産		628	43.6
グリーンツーリズムなどの観光資源としての利用		379	26.3
その他		23	1.6
特にない		18	1.3
不明		35	2.4

森林の果たす役割については、「自然災害を防ぐ土砂の流出防止」84.2%、「地球温暖化の防止(二酸化炭素を吸収する役割)」81.2%、ついで「水源のかん養(水を貯え、洪水や渇水を緩和する役割)」74.6%となっている。



< 森林の現状に対する認識 >

「一部整備が進んでいるが、まだ一部で荒廃している」と約4割が認識

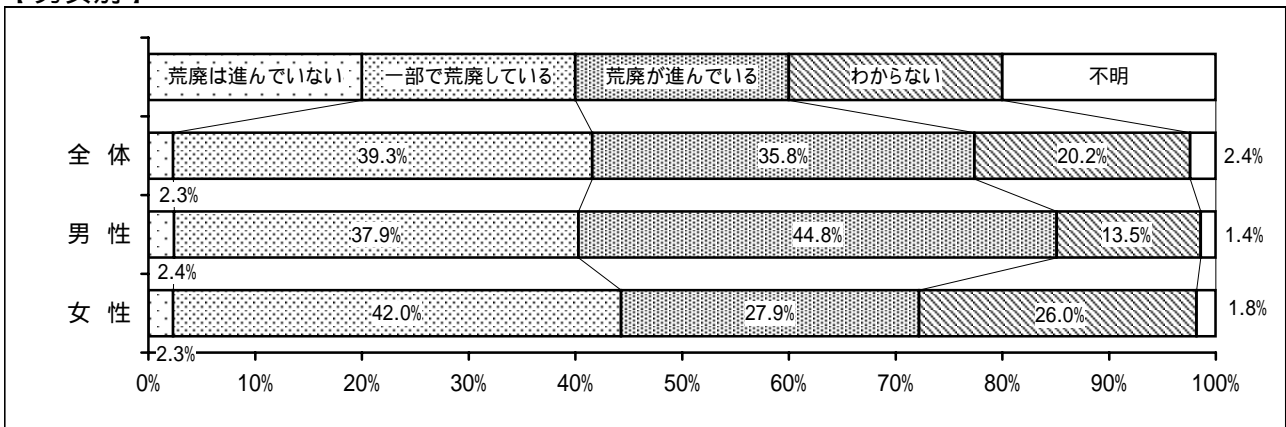
問30 あなたは長野県の森林の現状をどう思いますか。次の中から1つあげてください。

	n= 1,439	回答数 (人)	割合 (%)	平成15年度調査	
				回答数 (人)	割合 (%)
整備が進んでおり、荒廃は進んでいない		33	2.3	30	2.3
一部整備が進んでいるが、まだ一部で荒廃している		567	39.3	457	34.9
整備が進まず、荒廃が進んでいる		515	35.8	536	40.9
わからない		290	20.2	241	18.4
不明		34	2.4	47	3.6

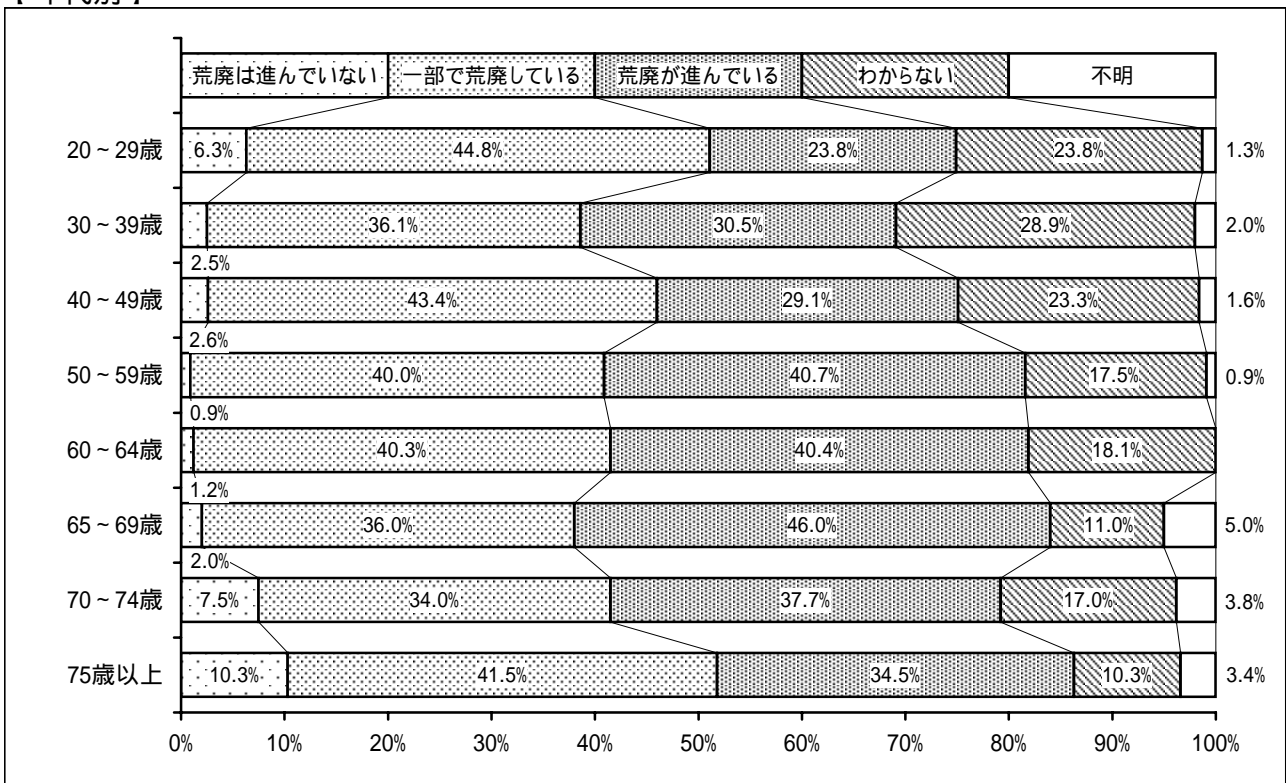
男女別では、男性は「整備が進まず、荒廃が進んでいる」44.8%と女性よりも16.9ポイント高くなっている。

年代別では、すべての年代で「一部で荒廃している」、「荒廃が進んでいる」が高い割合を占めているが、20～49歳の各年代では、「わからない」が2割を超えている。

【男女別】



【年代別】



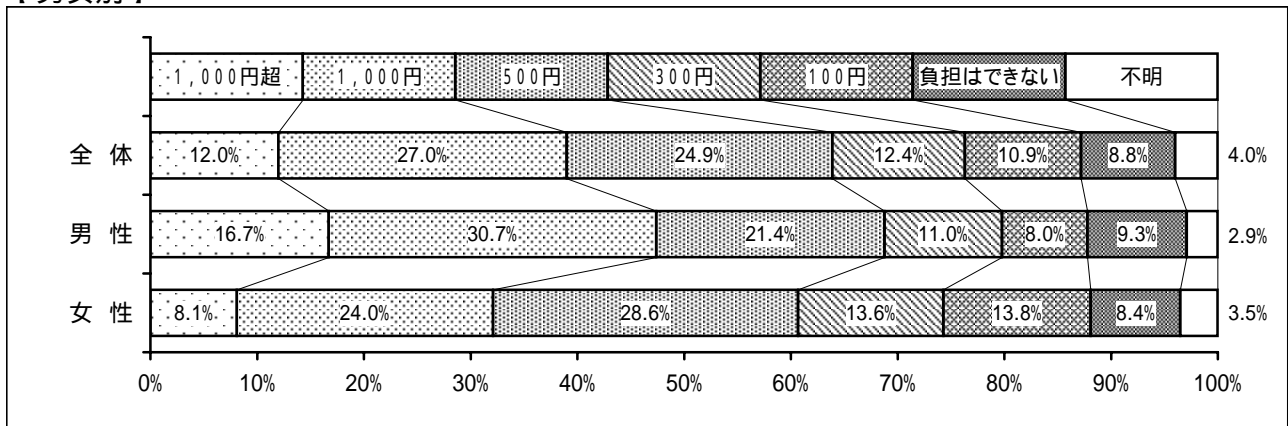
< 森林づくりに対する費用負担 >
500円以上の負担に約6割

問31 あなたは健全な森林づくりを進めていくために、年間どの程度まで負担することができますか。次の中から1つあげてください。

	n= 1,439	回答数 (人)	割合 (%)	平成15年度調査	
				回答数 (人)	割合 (%)
1,000円より多くても可能		172	12.0	177	13.5
1,000円		389	27.0	331	25.2
500円		359	24.9	336	25.6
300円		178	12.4	148	11.3
100円		157	10.9	115	8.8
負担することはできない		127	8.8	126	9.6
不明		57	4.0	78	5.9

男性では「1,000円」が30.7%、女性では「500円」が28.6%と最も高い割合となっている。
年代別では、50歳以上の年齢層で「1,000円」、「1,000円より多くても可能」の合計が4割を超えている。

【男女別】



【年代別】

